



令和7年度

**大和市の環境に関する
事業者アンケート
調査結果**

令和7年9月

大 和 市

目 次

I 調査概要	1
1. アンケートの目的	1
2. 対象者	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収結果	1
II 調査結果	2
1. 回答者について	2
2. 環境に関する日頃の取組について	5
3. 現在の大和市の環境について	6
4. 大和市や神奈川県が実施する事業者向けの事業について	8
5. 再生可能エネルギー・省エネルギー機器の設置や利用、 今後の予定について	11
6. 地球温暖化対策や環境施策等について(自由意見)	14



大和市気候非常事態宣言ロゴマーク

I 調査概要

1. アンケートの目的

大和市環境基本計画の進行管理において、事業者の環境意識・省エネ意識を数値として把握し、各施策の達成状況の確認や今後の環境施策に生かしていくための基礎資料とします。

2. 対象者

市内に所在する事業者(無作為抽出)

3. 調査方法

郵送で配布し、郵送で回収またはWebフォームから回答

4. 調査期間

令和7年7月1日(火)～令和7年7月31日(木)

5. 回収結果

有効配布数	回 収 数	回 収 率
760 件	212 件 (郵送 177 件、Web35 件)	27.9% (郵送 23.3%、Web 4.6%)



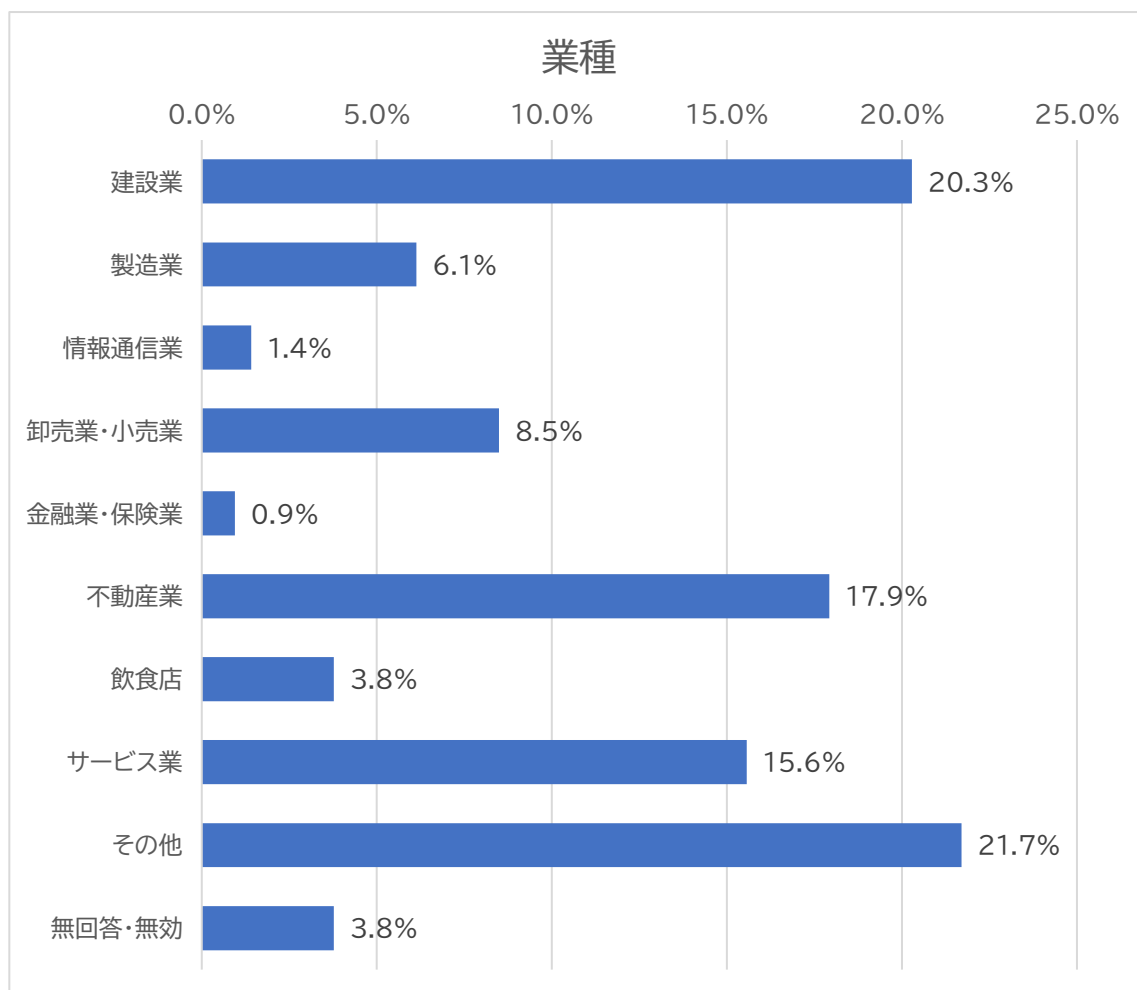
大和市気候非常事態宣言ロゴマーク

Ⅱ 調査結果

1 回答者について

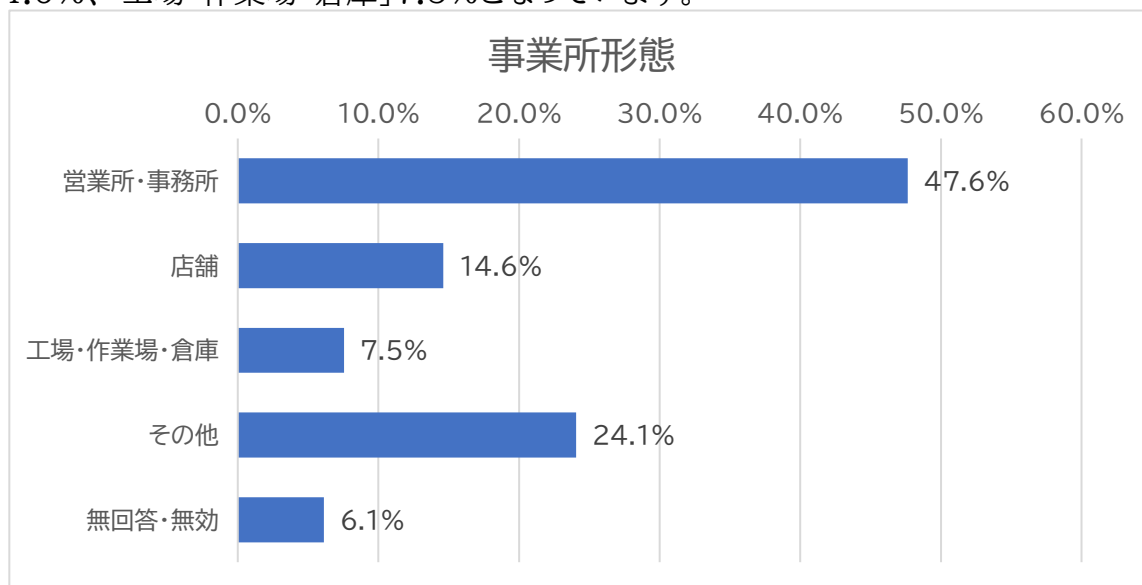
1-1 業種・売上げが最も大きい事業

業種について、「建設業」の割合が 20.3%と最も高く、次いで「不動産業」が 17.9%、「サービス業」が 15.6%となっており、この 3 業種で 50%を超えています。



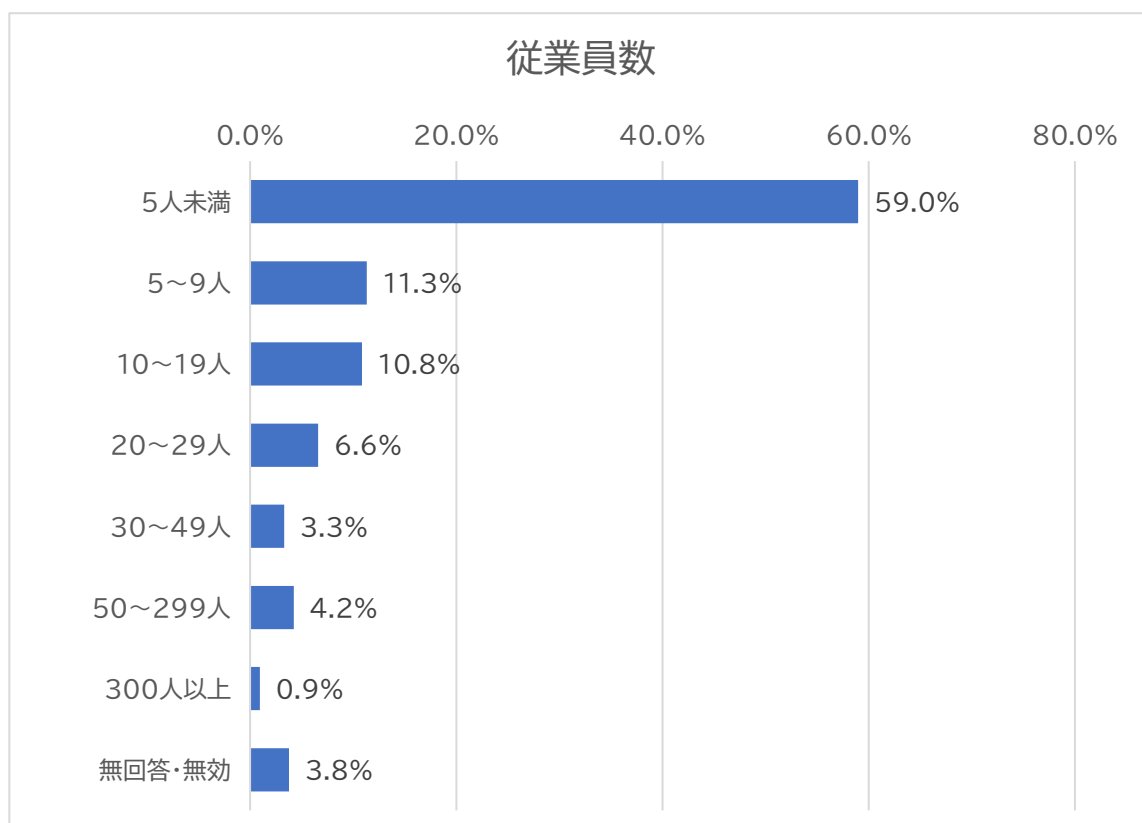
1-2 事業所形態

事業所形態について、「営業所・事業所」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「店舗」14.6%、「工場・作業場・倉庫」7.5%となっています。



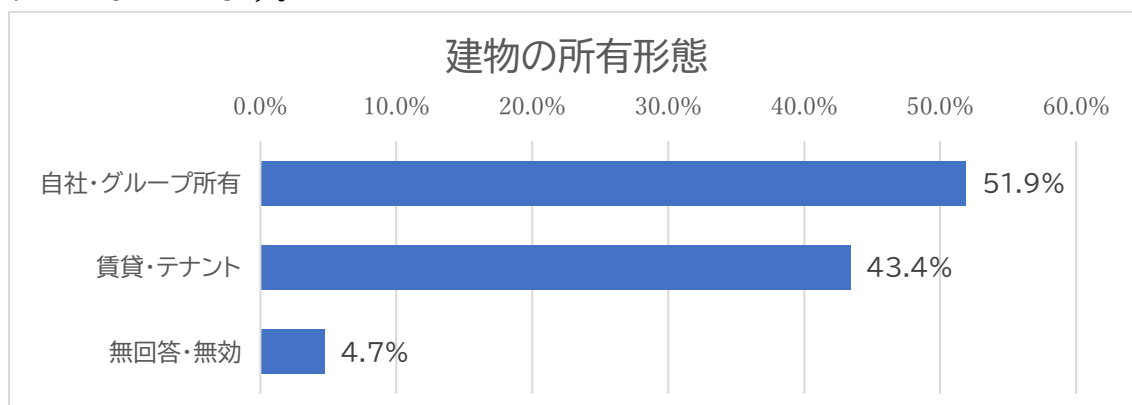
1-3 従業員数

従業員数について、「5 人未満」の割合が 59.0%と最も高く、次ぐ「5～9 人」が 11.3%となっており、5 人未満の小規模な事業所の割合が突出して高くなっています。



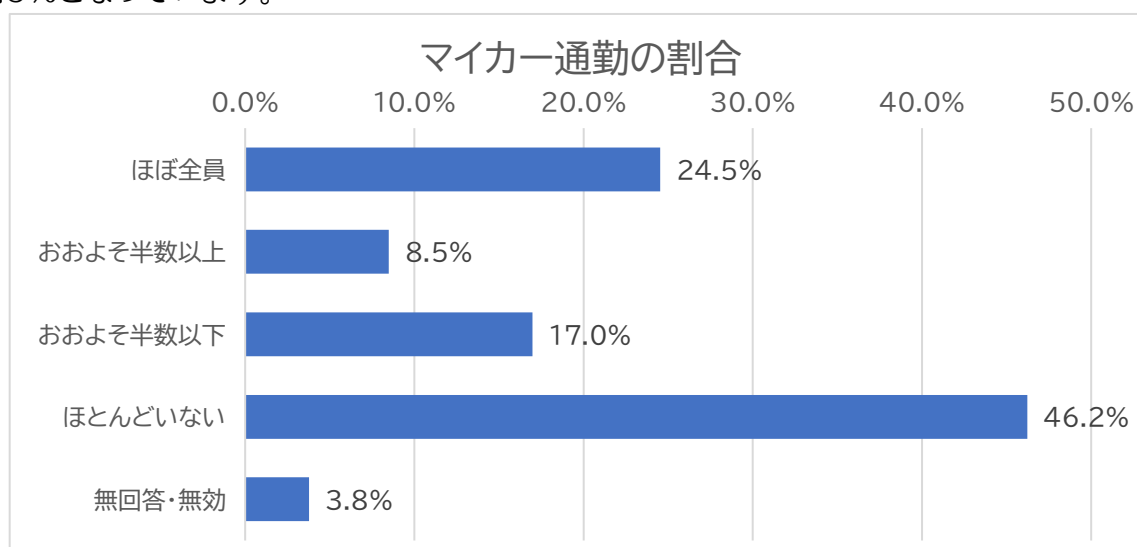
1-4 建物の所有形態

建物の所有形態について、「自社・グループ所有」の割合が 51.9%、「賃貸・テナント」が 43.4%となっています。



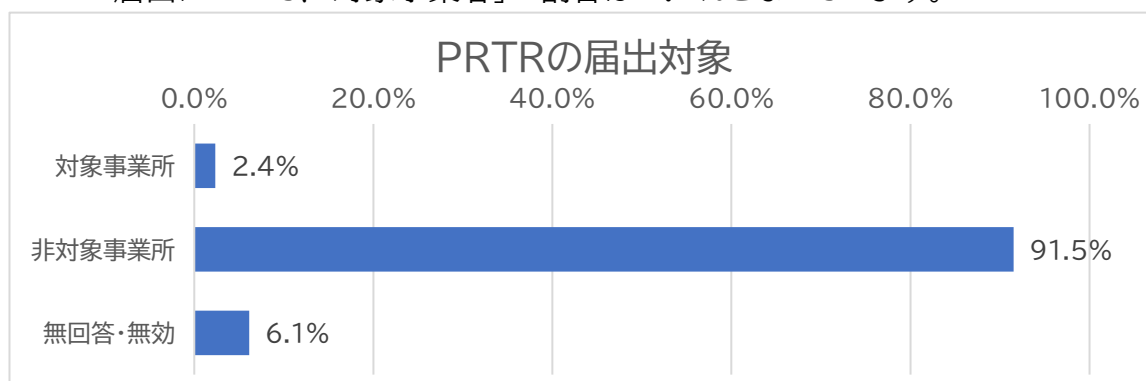
1-5 マイカー通勤者の割合(全従業員中)

マイカー通勤者の割合について、「ほとんどいない」の割合が 46.2%で最も高く、次いで「ほぼ全員」が 24.5%、「おおよそ半数以下」が 17.0%、「おおよそ半数以上」が 8.5%となっています。



1-6 PRTR の届出対象

PRTR の届出について、「対象事業者」の割合は 2.4%となっています。

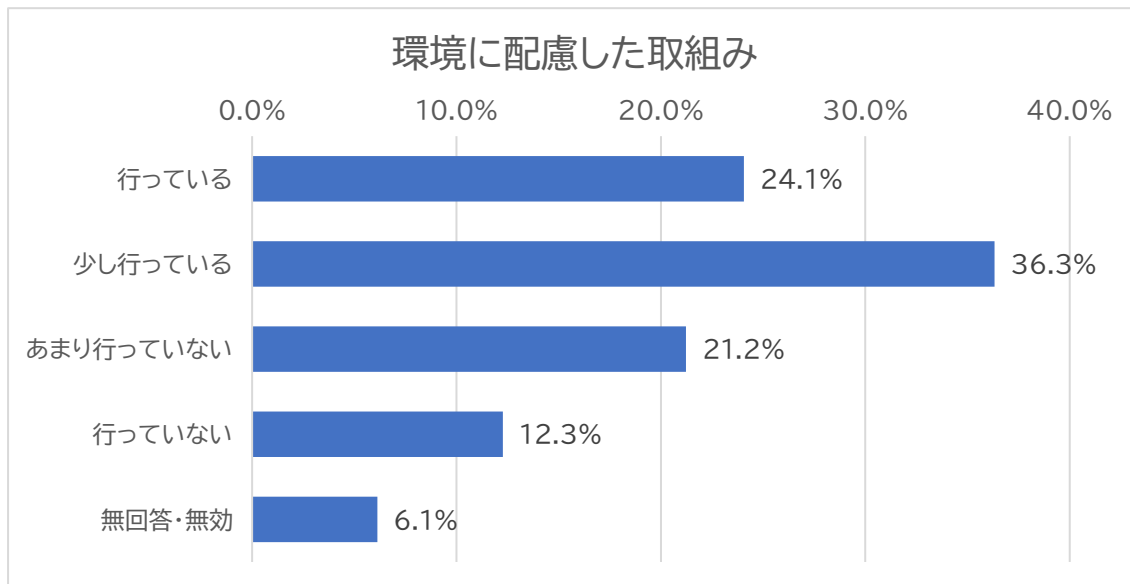


※PRTR とは、環境リスクが大きい化学物質について、規制を行う従来の手法ではなく、事業者は適正に届出を行い、市民は情報を共有することで、全体の環境リスクを低減させようとする制度です。

2 環境に関する日頃の取組について

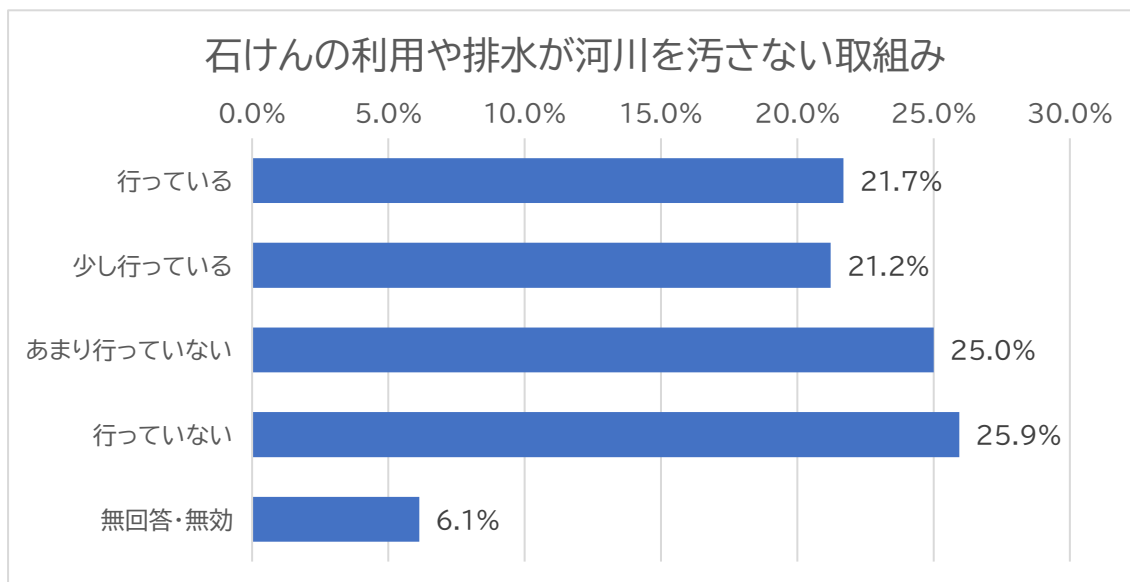
2-1 事業活動において、環境に配慮した取組を行っていますか。

「行っている」の 24.1%と「少し行っている」の 36.3%とを合わせ、事業活動において、環境に配慮した取組を行っている事業者の割合は 60.4%となっています。



2-2 石けんの利用や排水が河川を汚さないような取組をしていますか。

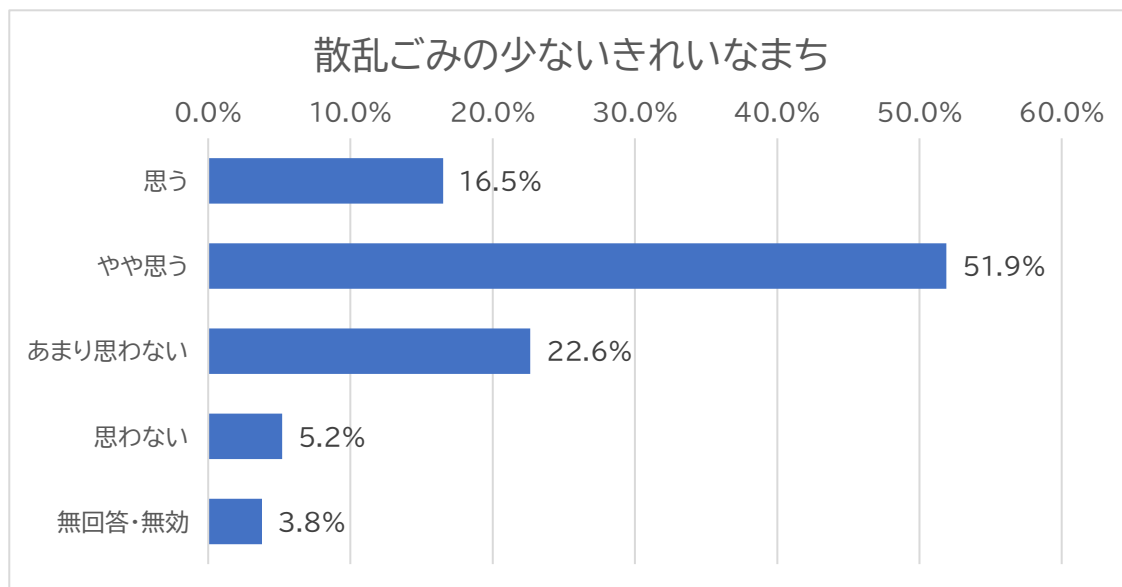
「行っている」の 21.7%と「少し行っている」の 21.2%とを合わせ、石けんの利用や排水が川を汚さないような取組を行っている事業者の割合は 42.9%となっています。



3 現在の大和市の環境について

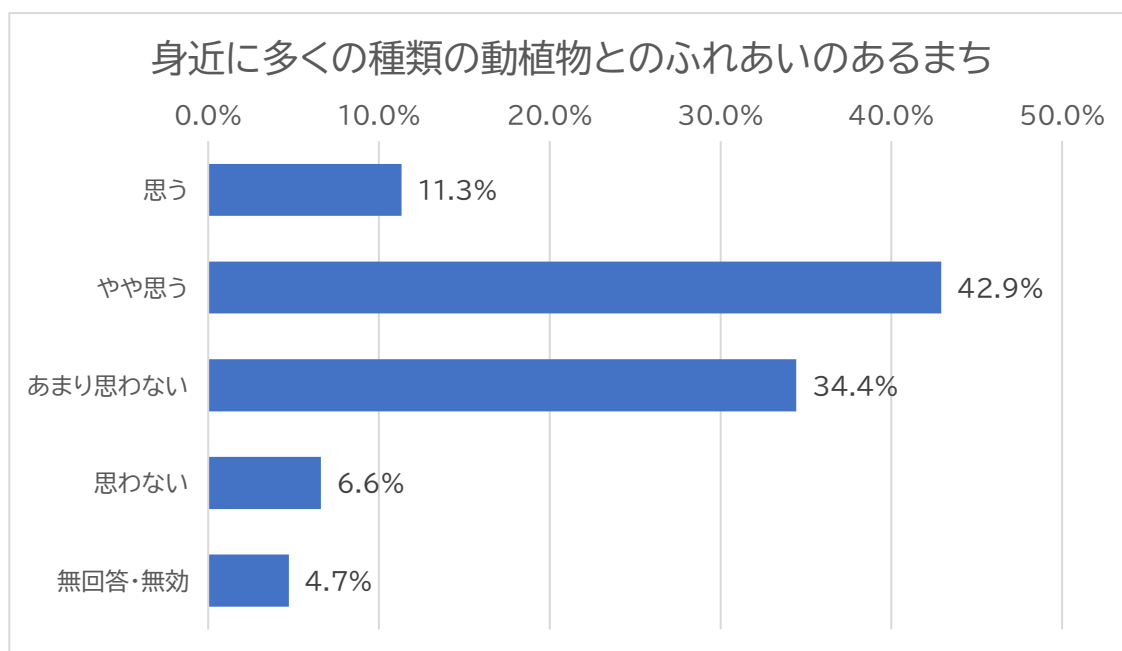
3-1 大和市は「散乱ごみの少ないきれいなまち」だと思いますか。

「思う」の 16.5%と、「やや思う」の 51.9%とを合わせ、大和市は「散乱ごみの少ないきれいなまち」だと思う事業者の割合は 68.4%となっています。



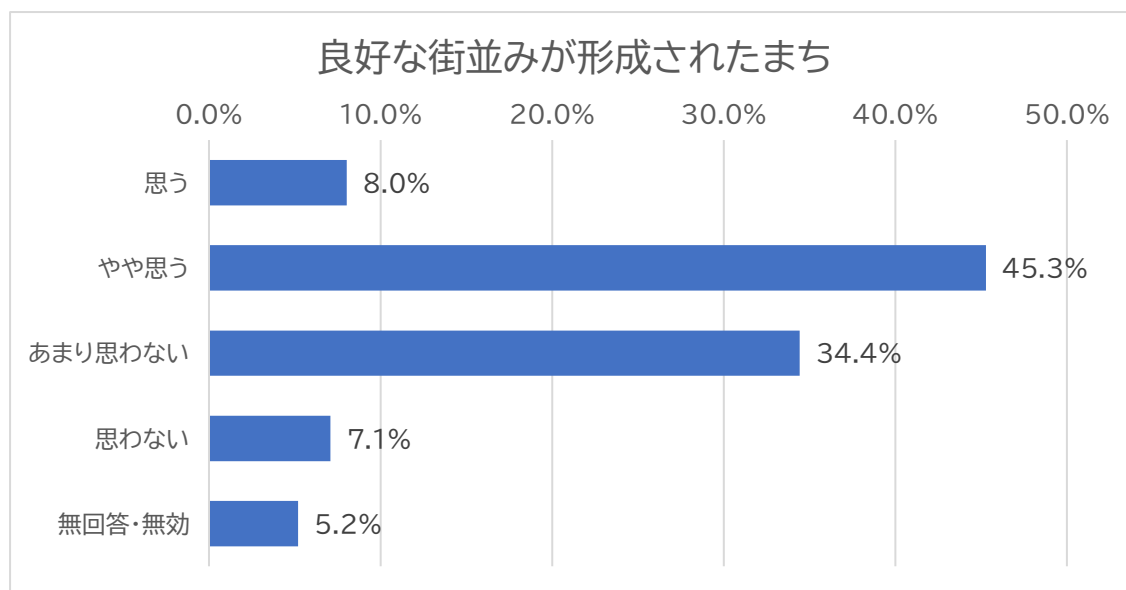
3-2 大和市は「身近に多くの種類の動植物とのふれあいのあるまち」だと思いますか。

「思う」の 11.3%と、「やや思う」の 42.9%とを合わせ、大和市は「身近に多くの種類の動植物とのふれあいのあるまち」だと思う事業者の割合は 54.2%となっています。



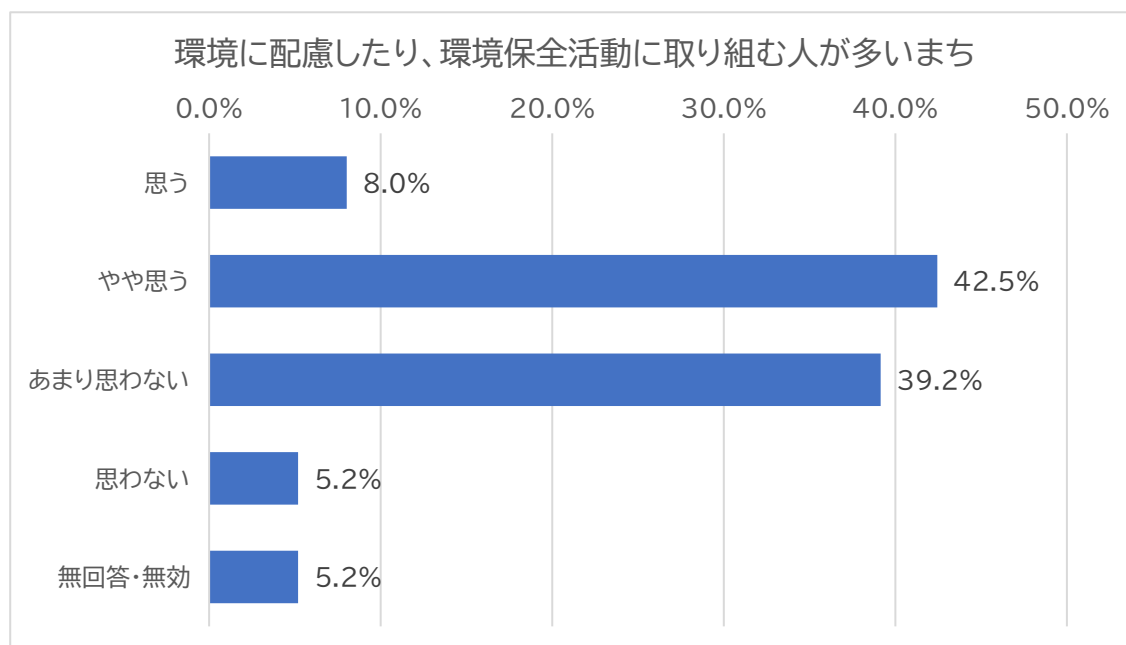
3-3 大和市は「良好な街並みが形成されたまち」だと思いますか。

「思う」の 8.0%と、「やや思う」の 45.3%とを合わせ、大和市が「良好な街並みが形成されたまち」だと思う事業者の割合は 53.3%となっています。



3-4 大和市は「環境に配慮したり、環境保全活動に取り組む人が多いまち」だと思いますか。

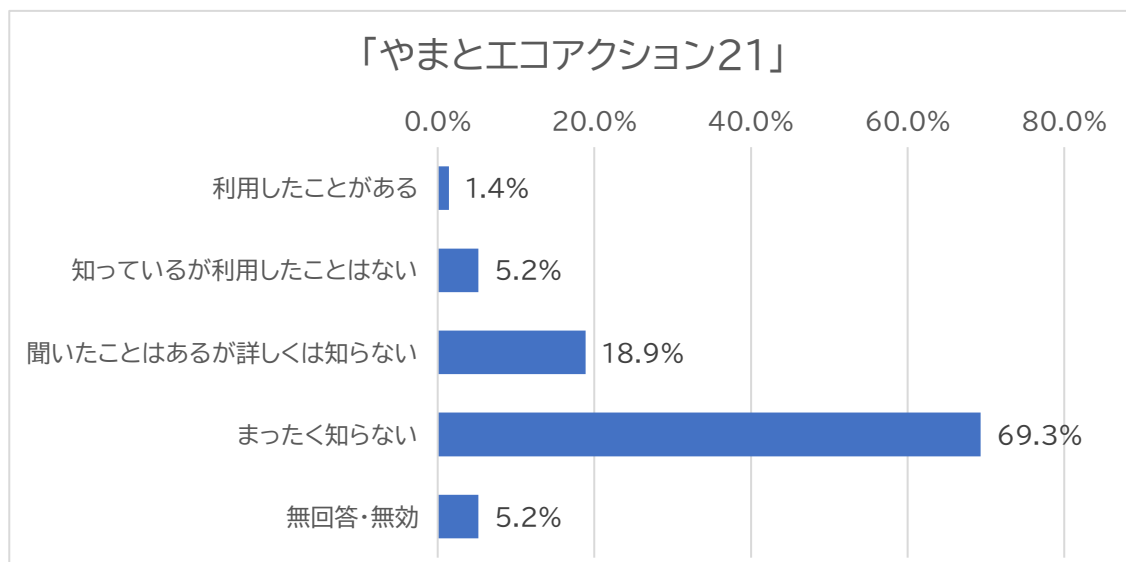
「思う」の 8.0%と、「やや思う」の 42.5%とを合わせ、大和市が「環境に配慮したり、環境保全活動に取り組む人が多いまち」だと思う事業者の割合は 50.5%となっています。



4 大和市や神奈川県が実施する事業者向けの事業について

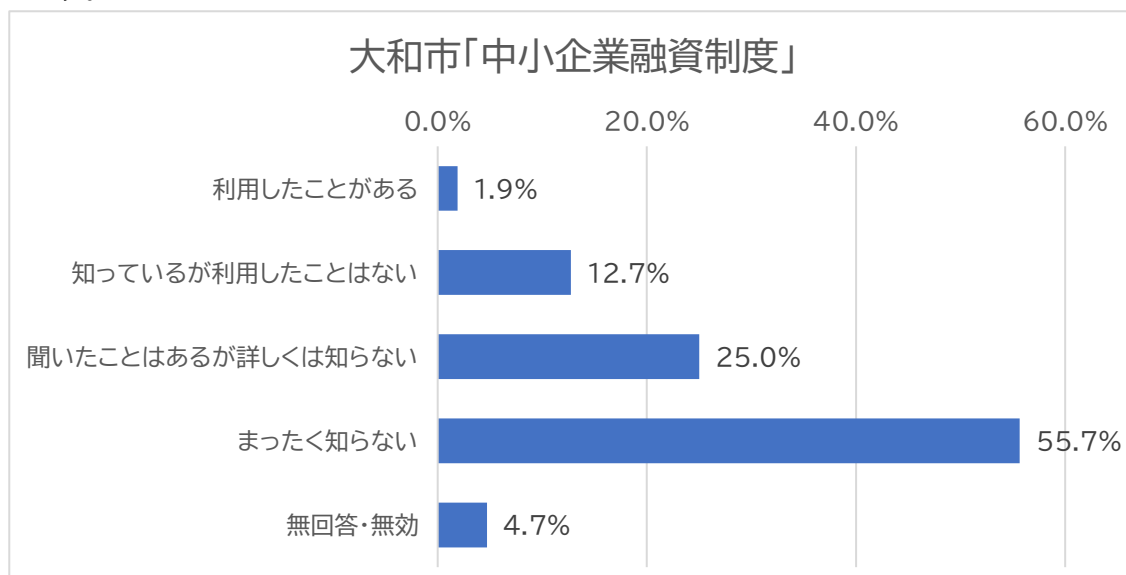
4-1 「やまとエコアクション 21」をご存じですか。

「やまとエコアクション 21」について、「まったく知らない」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しく知らない」が 18.9%、「知っているが利用したことはない」が 5.2%、「利用したことがある」が 1.4%の順となっており、制度について聞いたことがあるとする事業者の割合は 25.5%となっています。



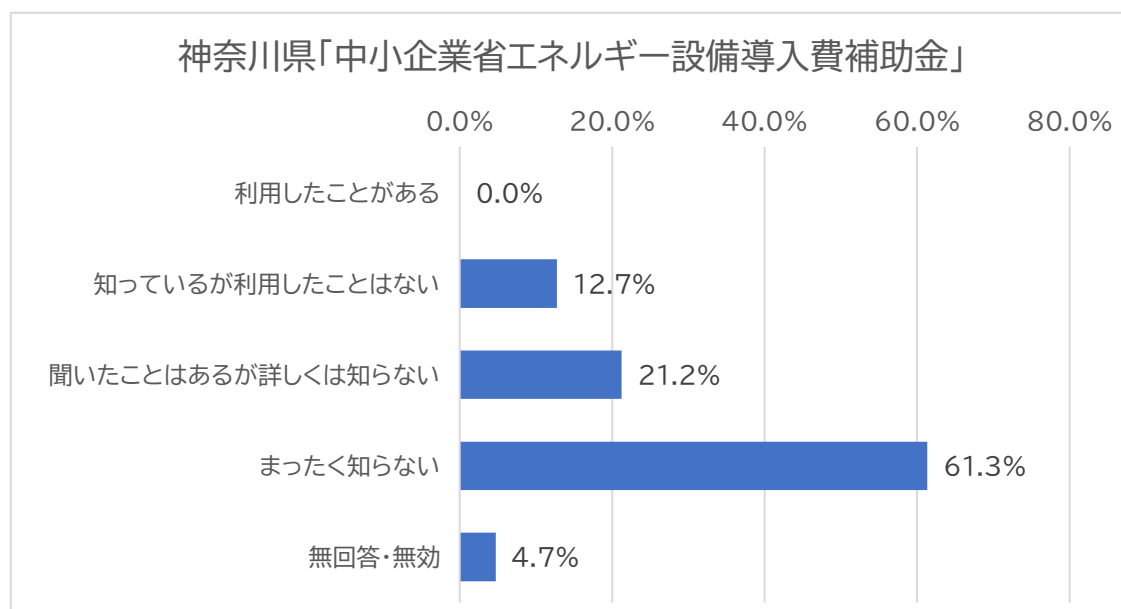
4-2 大和市が実施する「中小企業融資制度」では、省エネルギー対策設備導入資金を融資していることをご存じですか。

大和市「中小企業融資制度(省エネルギー対策設備導入資金)」について、「まったく知らない」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が 25.0%、「知っているが利用したことはない」が 12.7%、「利用したことがある」が 1.9%の順となっており、制度について聞いたことがあるとする事業者の割合は 39.6%となっています。



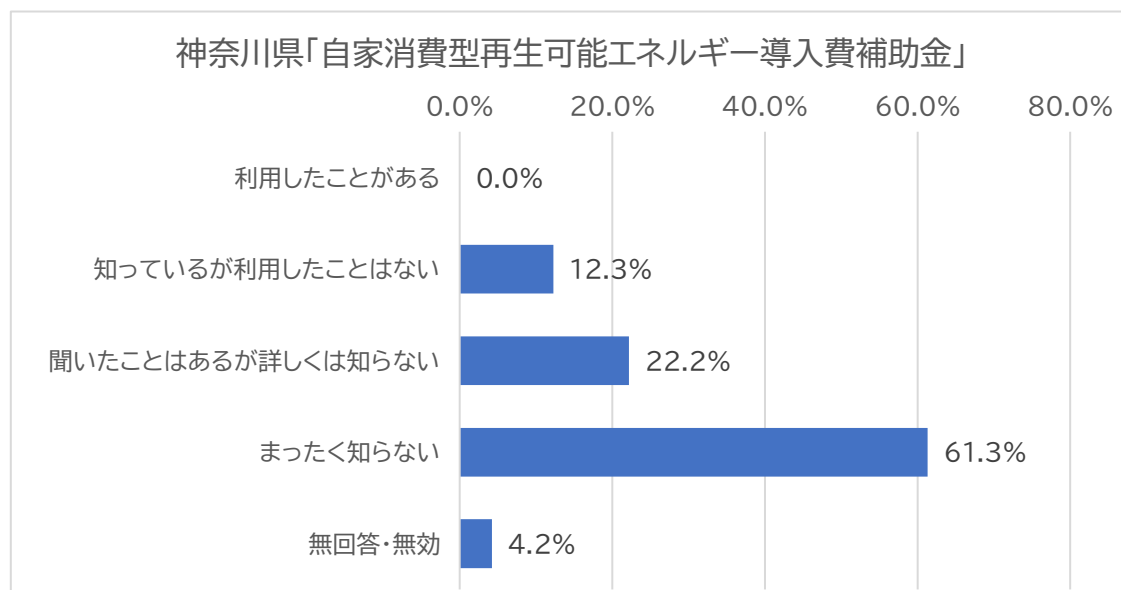
4-3 神奈川県が省エネ設備の更新・保守等に係る経費の一部を補助する「中小企業省エネルギー設備導入費等補助金」をご存じですか。

神奈川県「中小企業省エネルギー設備導入費等補助金」について、「まったく知らない」の割合が61.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が21.2%、「知っているが利用したことはない」が12.7%の順となっており、「利用したことがある」は0.0%で、制度について聞いたことがあるとする事業者の割合は33.9%となっています。



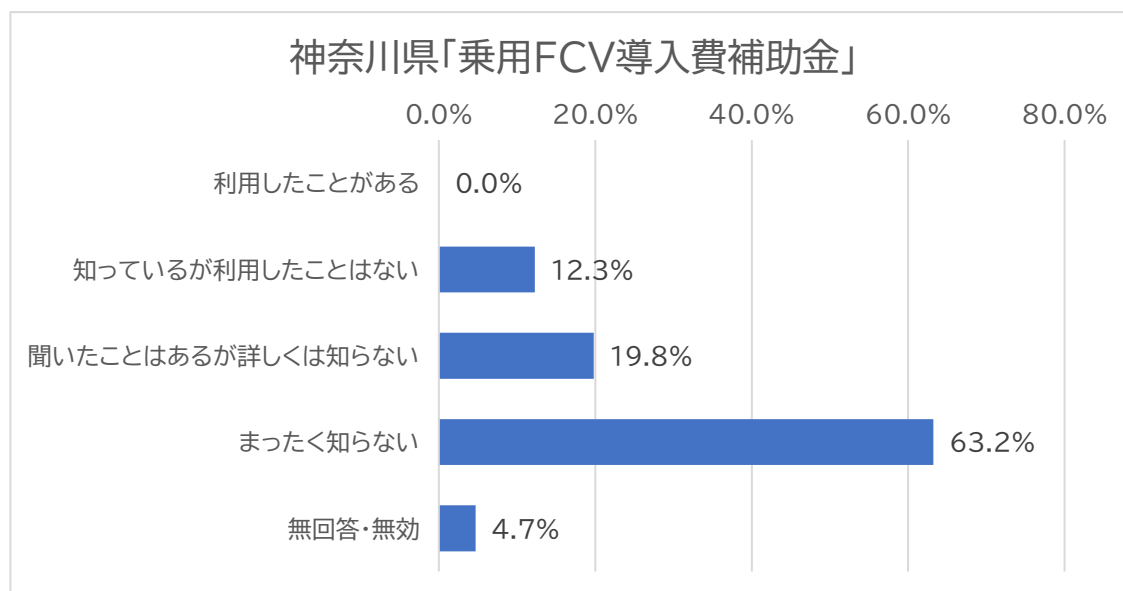
4-4 神奈川県が自家消費を目的とした再生可能エネルギー発電設備や当該設備と併せて導入する蓄電システムの導入に係る経費の一部を補助する「自家消費型再生可能エネルギー導入費補助金」をご存じですか。

神奈川県「自家消費型再生可能エネルギー導入費補助金」について、「まったく知らない」の割合が61.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が22.2%、「知っているが利用したことはない」が12.3%の順となっており、「利用したことがある」は0.0%で、制度について聞いたことがあるとする事業者の割合は34.5%となっています。



4-5 神奈川県が乗用 FCV(燃料電池自動車)を導入する経費の一部を補助する「乗用FCV導入費補助金」をご存じですか。

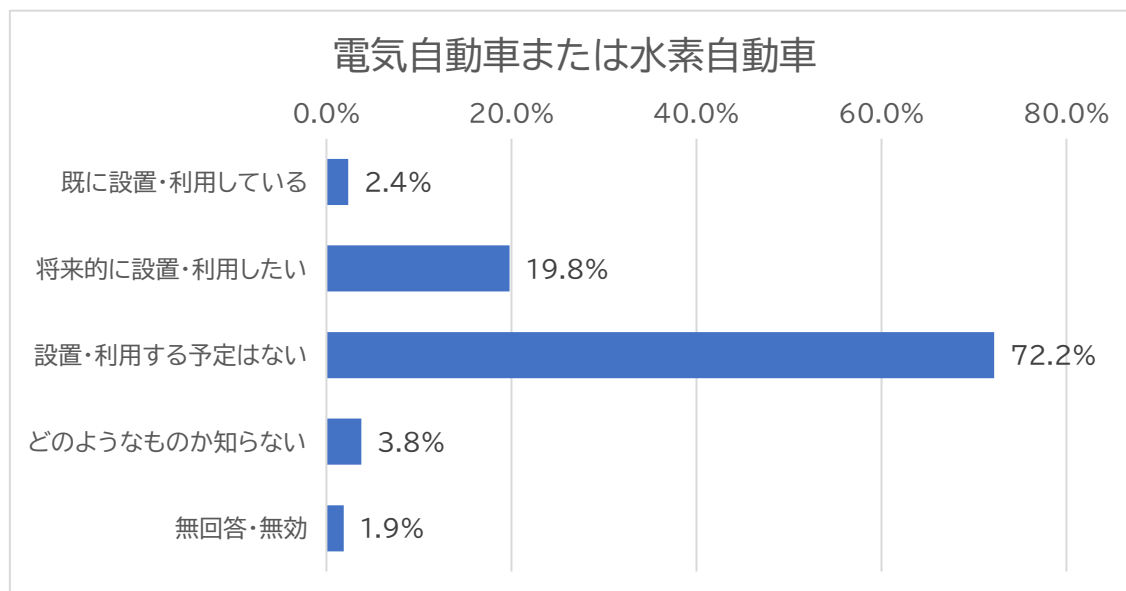
神奈川県「乗用FCV導入費補助金」について、「まったく知らない」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が 19.8%、「知っているが利用したことはない」が 12.3%の順となっており、「利用したことがある」は 0.0%で、制度について聞いたことがあるとする事業者の割合は 32.1%となっています。



5 再生可能エネルギー・省エネルギー機器の設置や利用、今後の予定について

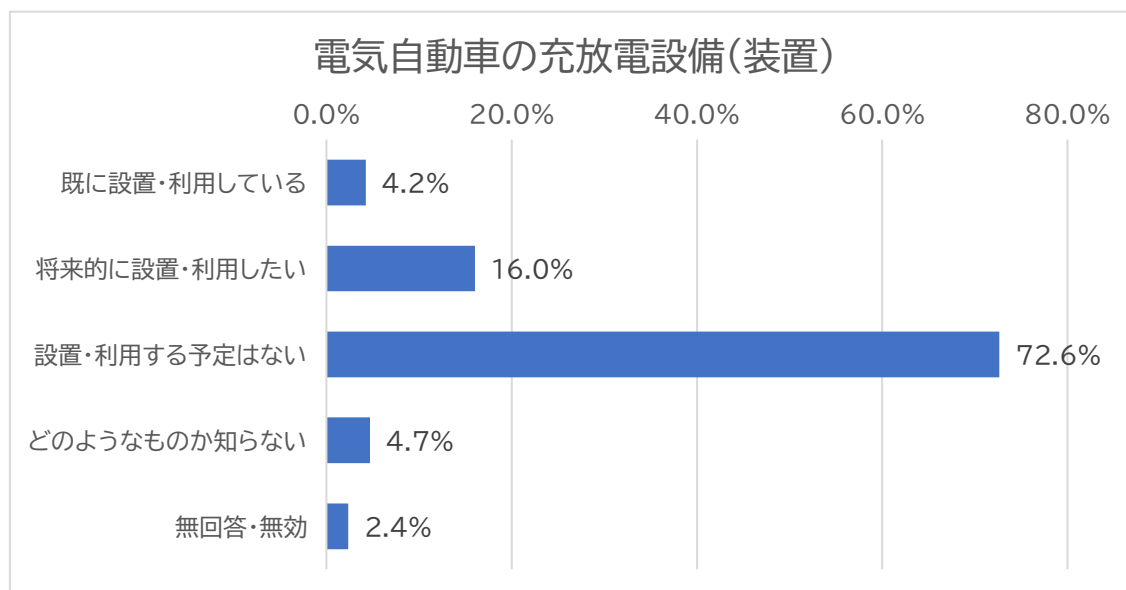
5-1 電気自動車または水素自動車

電気自動車または水素自動車について、「設置・利用する予定はない」の割合が72.2%と最も高く、「将来的に設置・利用したい」の19.8%と「既に設置・利用している」の2.4%を合わせた事業者の利用の意向は22.2%となっています。



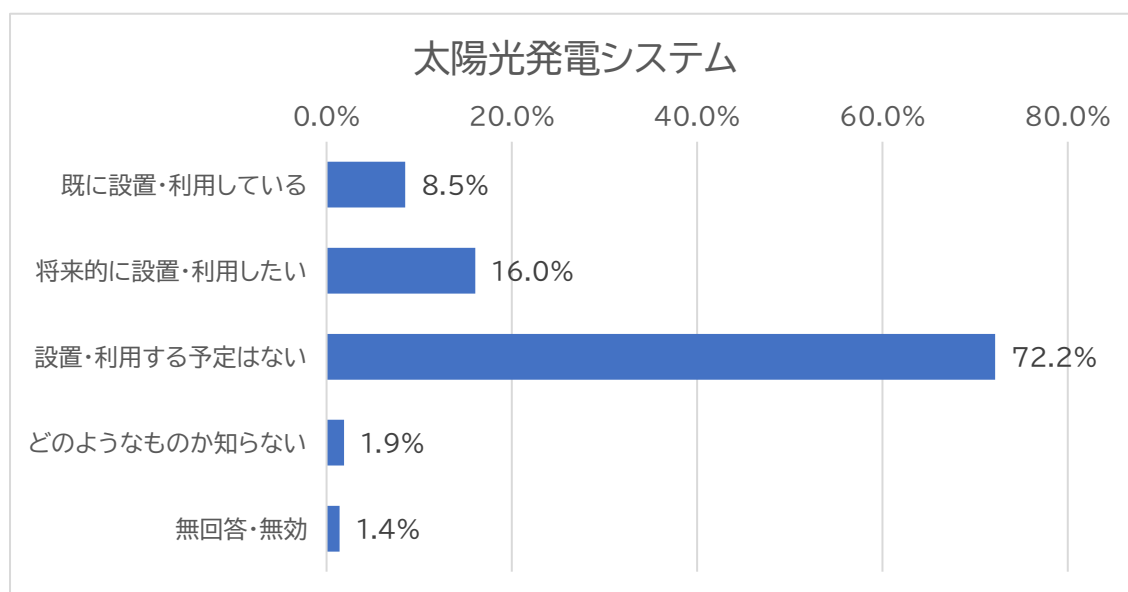
5-2 電気自動車の充放電設備(装置)

電気自動車の充放電設備(装置)について、「設置・利用する予定はない」の割合が72.6%と最も高く、「将来的に設置・利用したい」の16.0%と「既に設置・利用している」の4.2%を合わせた事業者の利用の意向は20.2%となっています。



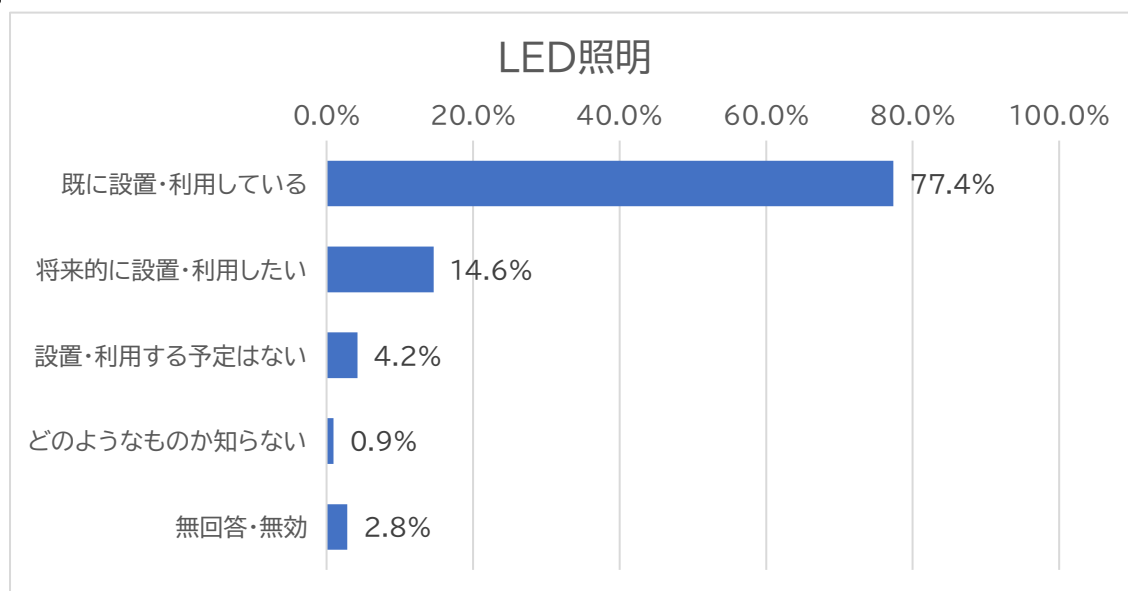
5-3 太陽光発電システム

太陽光発電システムについて、「設置・利用する予定はない」の割合が 72.2%と最も高く、「将来的に設置・利用したい」の 16.0%と「既に設置・利用している」の 8.5%を合わせた事業者の利用の意向は 24.5%となっています。



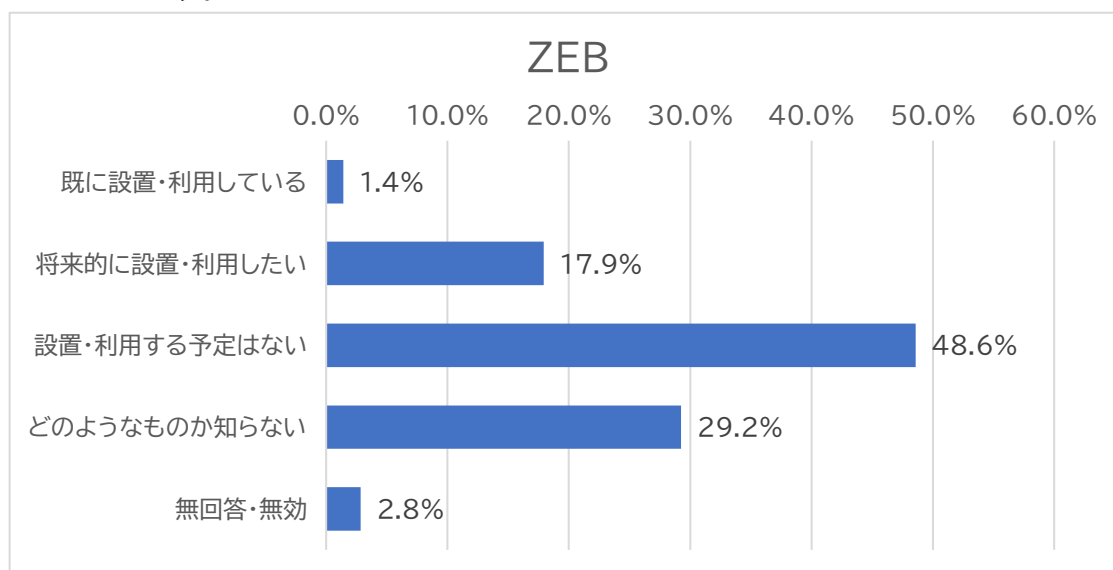
5-4 LED照明

LED照明について、「既に設置・利用している」の割合が 77.4%と最も高く、「将来的に設置・利用したい」の 14.6%を合わせると 92.0%となっており、着実に利用が進んでいます。



5-5 ZEB(ゼブ／ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)※

ZEBについて、「設置・利用する予定はない」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「どのようなものか知らない」が 29.2%となっており、認知度があまり高まっていないという結果になっています。



※ZEB(ゼブ／ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とは、断熱や採光性などを工夫してエネルギー消費量を減らす一方で、再生可能エネルギーの導入により、エネルギーの消費量の収支を実質的にゼロとする建物のこと。

ご意見や感じていることなどがあれば、ご自由にご記入ください。

1.生活環境

(1)空気

- ・市道の渋滞による、自動車の排ガスの量を削減するために交通システムによる渋滞緩和ができないものか。
- ・大きな道路につながる道もありますし、中央林間などでは、物流センターも見受けられます。トラック等も多く、空気が汚く感じることもあります。もう少し自然豊かな町づくりに力を入れてもよいと考えます。

(2)美化

- ・弊社事業所脇にあるゴミの収集場のゴミの量が多過ぎる(トラック 2 台分ある)こと。遠方からわざわざ捨てにくる。日時を守らない人が大半、風の強い日は、弊社事業所内に 45ℓゴミ袋 2～3 枚分程度散乱して困っている。環境対策以前の話しです。本当に困っています。
- ・大和駅付近でお祭りなどのにぎやかさがあつた際に、駅前からシリウス付近の道路にごみ、食べかけの汁が入ったラーメン、缶や PET ボトルの散乱がひどく、近所の有志が清掃をよぎなくされる場合が多いです。お祭りのイベント内の業務として、終了後 2 時間後あたりも気をつけてくださるといいのにとおもいます。もちろん地域をもちあげるために自分たちも清掃をやるのですがあまりに無秩序では?!
- ・公園の清掃をもっと多くしていただきたい。
- ・環境美化に対しては積極的に取り組むべき。街中をキレイに保つことで街のブランド化にも寄与できるし治安維持、住みやすい大和につながる。

2.自然環境

(1)緑

- ・剪定作業を行う際に、その樹木に合った剪定を行い生育を阻害しないよう努めている。(自然環境への配慮)大和市の公園や街路樹を見ると、生育及び景観を考慮していない剪定が近年目立っているように感じる。
- ・温暖化防止の取り組みとして緑を増やす取り組みを強化すべきだと感じています。
- ・地球温暖化対策の実行が急務であることは当然であり、周知されつつあるが、見近な環境破壊は目に余るものがある。最も酷いのは、市によるやまと公園の樹木伐採です。物心ついてから 40 年以上、小田急線から、横の通りから緑を眺めるのが楽しみでした。市民に十分な説明も無く樹齢 50 年超と思われる高木を伐採し多くの緑陰が失われた事は温暖化対策と環境教育に逆行しており、犯罪行為に近いものがあります。子供の遊び場が必要だが、樹を切っては意味が無い。

3.都市環境

(1)安全

- ・大雨による河川の氾濫や道路の冠水対策等、途中なので被害が拡大する前に早急に進めて欲しい。

4.地球環境

(1)地球環境

- ・建設業なので、地球温暖化は肌で感じております。法人としても何か出来る事があれば協力して行けたら良いなあと思います。しかしながら先ずはそう言う事が出来る利益を出せるようになって行きたいです。
- ・地球温暖化については懐疑的であるので行政が取り組んでいる施策には賛同できない。電気自動車のバッテリー・ソーラーパネルの製造過程で出る温室効果ガス排出、廃棄の問題が解決できていないのに省エネとは言い難い。都合のいいようにビジネスにしている気がする。脱炭素・省エネ・エコなどは市町村単位でなく国のやることだと考えます。
- ・現場は暑い。
- ・地球温暖化については懐疑的です。日本というか日本人は元々環境には配慮してきた歴史があるし、日本がいくら Co2 排出抑制しても地球レベルで約 2%、中国、米国で 50~60%もあるのにその 2 か国は殆ど抑制していない。カーボンニュートラルなどナンセンスと言うしかない。最近では地球温暖化と言わずに気候変動とか言いますね、地球が誕生してから現在そして今後も気候変動は続きます。環境施策は金儲けの手段に過ぎないです。又 SDGS も同様です。日本人はこれらのまやかしかから早く目を覚ますべきです。大事なものは客観的で公平な科学的データに基づく事です。
- ・地球温暖化は、もはや国際的に行わなくなっていると考える。日本も国際的動きをもっと適時キャッチアップし過剰な地球温暖化さわぎに余計な税金を使うのをやめてほしい。
- ・事務所は持たず。大和市と協働事業、福祉有償運送を実施。酷暑のなかクーラーを使わないわけにはいけないので、省エネと再生可能エネルギーの割合を増やしていくほかはないのでは。

5.循環

(1)資源

- ・事業所ではごみの分別を進めて、家庭で出るごみと同じごみは事業系有料指定ゴミ袋で廃棄するようにしています。しかし、産業廃棄物に含んでしまっているゴミも多く、今より分類を進めたいと考えています。
- ・資源ごみ等はほぼ全量、エコステーションへ持ち込んでいます。
- ・リサイクルの推進を今以上に徹底し、地球環境を良いものにして行きたい。
- ・産業廃棄物は、市及び県の指定業者に出す。個人的には、分別して、ゴミを出す。

このぐらいしか、行動していません。

- ・廃油(食用)の回収を知らない家庭が多い。

(2)エネルギー

- ・太陽光パネルや風車などの変動性再エネや電気自動車の拡大、推進は止めて下さい。
- ・道路のライト LED 化が進んでいるようで、一方そちらも太陽光にきりかえれば・・・とも思います。
- ・太陽光発電システムは、自宅に設置済み。国、市の補助を受け設置したが、FIT も 10 年が過ぎ、蓄電池設備も検討中です。会社(不動産賃貸)の設備としては進めていないので今後考えたい。市として、省エネ設備補助がある等、よりいっそうアピールを望みます。
- ・石炭、石油を燃やして得た電気で自動車を走らせても CO₂ の排出量は同程度なので水素、風力、潮流等にもっと開発を促進(国家予算付で)すべきと思います。
- ・太陽光発電システムの設置については反対です。発電効率も不安定で悪く、火災の時には消火活動に支障をきたします。太陽光パネルの廃棄も有害物質流出が懸念されます。
- ・当社事務所の屋根に断熱塗料をして頂く為に市役所では補助金が住宅では無いので補助金が出ない事がわかりましたが、断熱費用がかかりますのでなかなか工事が出来ない。
- ・再生可能エネルギーの太陽光発電(特にメガソーラー)には森林伐採による無計画な自然破壊と、有害物質の含まれる太陽光パネルの廃棄による公害懸念及び FIT 制度による電気代値上りと、問題だらけの疑念を持っている。太陽光発電のパネルの欠点は、①雨天や夜間に発電不可で不安定②真夏など高温時や劣化時の出力低下など出力制御の為に代替発電に化石燃料発電が必要なこと。
- ・発電の殆どを火力に頼っている日本では、EV がエコであるという間違った認識は改める必要がある。最大のエコは、むだな移動が必要無い社会システムを構築することだと思う。

6.その他

- ・無理せずにやれる事をやるのみ。
- ・アメリカやロシアから始めればよいと思う。
- ・大切とは思いますが、他の懸念する事が多いからメインでは考えにくいです。
- ・政策自体が疎いのですが、活動を応援しております。
- ・地球全体では人口が増えており、個々の取り組みでは対策をしても限界があると思う。ドローン機器を利用した高度位置による太陽光発電、洋上発電などを含め新しいエネルギーの開発とともに、宇宙空間に鏡やガラス片をまく等、人類が滅亡する前にやるべき事をやり、未来に希望を、と思っている。
- ・市役所でためしたキッチンカーの食事も、まったく PR 不足だと考えます。しっかりとやるなら、町ぐるみでしっかり PR してみんなで対策等してみてはいいかかでしょう

か。告知不足が目につきます。

- ・本当に再生可能エネルギーは必要なのでしょうか？それよりも社会保障費。税金を下げたいです。
- ・アンケートはデジタル化されると良いと思いました。
- ・嘘をどこまで信じるかは個人の自由ですが、いい加減科学的根拠の元 複数のエビデンスの元 指標を示しては頂けませんか？
- ・大和市に限らず補助金の制度を知らない。後で知ったらおわり。
- ・何となくではなく本当にひとりひとりが気にしていかなければいけない問題だと思う。これからの地球の為にも。
- ・大和駅前を北と南に分断し、駅前広場が夜間外国人の溜り場と成っている、行政は無関心か？
- ・地球温暖化によって色々な支障が出ていますが私ももう歳なので電気自動車や、太陽光等の設置に関しては、行動をおこすことはできないので、他の事で少しずつ気をつけ、協力したいと考えております。
- ・大和駅前を整備してほしい。鉄道 2 路線が交差しているのに駅周辺の整備がまったくされていない。ひどすぎると思います。若者も安心して集まってくる安心した環境が必要です。利権を整理して再開発して下さい。



令和7年度
大和市の環境に関する事業者アンケート調査結果
(令和7年9月)

大和市 環境共生部 環境総務課
〒242-8601 大和市下鶴間一丁目1番1号
☎046(260)5493